

リオンの
風

第102期 第2四半期
事業報告書

2022.4.1-2022.9.30

CONTENTS

トップインタビュー	1
特集 発見! こんな場所にもリオン製品が!	5
トピックス	8
株主ひろば	11
製品別の概況	12
会社案内	13
株主メモ	14
音を科学する	裏表紙



経営環境の変化に耐えうる
組織をつくり、
将来を見据えた投資で
持続的な成長を目指します。

代表取締役社長
いわ はし きよ かつ
岩橋清勝

Q1 上期の業績と通期の見通しについて、お聞かせください。

上期はコロナの影響が残るなかでも、全事業で増収を達成することができました。

売上高全体の半分以上を占める医療機器事業において、対面販売が中心となる補聴器は、当社のなかでコロナの影響を最も受けやすい製品です。今年は行動制限の影響を受けた前年と比べて、来店客数が回復したこともあり、前年を上回る結果となりました。

高い成長を続ける微粒子計測器事業は好調だった前年をさらに上回る過去最高の売上高となりました。様々な分野で半導体が使用される世の中の流れは変わりません。今年2月に発売した液中微粒子計測器のハイエンドモデルである「KS-20F」は販売台数を順調に伸ばしています。

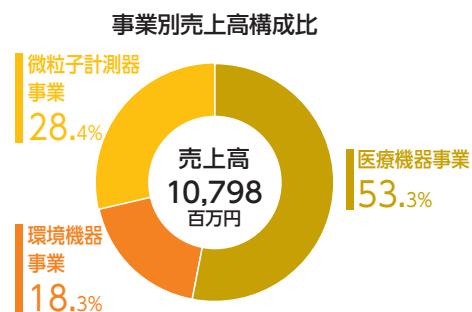
一方で、事業全体の利益は減益となりました。主な要因は、世の中の変化に合わせた開発内容の高度化により、開発費が想定を超えたことや原

材料の高騰によるものです。また、持続可能な企業とするためには、社員一人ひとりの能力向上が必要不可欠であると考え、教育研修制度を拡充させるなどの「人的資本」の強化を図っております。これは、将来の成長を見据えた施策の一つであり、当社にとって非常に重要な投資です。

通期の見通しは、医療機器事業はウィズコロナの定着で収益ともに前年を上回ることが予想されます。一方で環境機器事業と微粒子計測器事業において、部材不足による生産遅延が一部発生するものと想定しており、上期に比べて売上高・利益ともに伸び悩むものと見込んでおります。しかしながら、当社製品の動向を中長期的な視点で見ますと、市場における需要はますます高まり、着実な成長を実現できると考えております。

連結財務ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期



■ 第2四半期業績サマリー

	(百万円)
純資産	25,586
総資産	33,182
営業キャッシュ・フロー	1,527
投資キャッシュ・フロー	△245
財務キャッシュ・フロー	△288

	(百万円)
売上高	10,798
営業利益	1,052
経常利益	1,078
親会社株主に帰属する四半期純利益	605

	(百万円)
売上高	23,200
営業利益	2,700
経常利益	2,750
親会社株主に帰属する当期純利益	1,750

Q2 補聴器の新しい取り組みを教えてください。

次期新製品をバックアップする遠隔機能を備えた補聴器フィッティングアプリの開発に取り組んでいます。補聴器は装用の効果を発揮するまでに一定の期間が必要です。このアプリは、店舗で試聴器の貸出や補聴器を購入後、ご自宅にしながら、販売店に来店した時と同じように補聴器の調整を可能にするものです。コロナの状況によってなかなか販売店で調整ができず、効果を実感できないために、補聴器の装用を止めてしまう方が少なからずいらっしゃいます。アプリによって補聴器に慣れるまで販売店へ通う物理的な距離をなくすことを考えております。

Q3 補聴器の効果を実感していただくには、どのようなことが重要でしょうか。

加齢による難聴の場合、耳の機能は少しずつ低下していくため、自分では気づかないうちに音の刺激が少ない状態に慣れてしまいます。初めて補聴器を装用すると、今まで聞こえていなかった音がたくさん聞こえてくるため、とてもうるさく感じる場合があります。そのため、一人ひと

りの聞こえの状態に合わせて段階的に補聴器の調整を行い、少しずつ脳を慣らすトレーニングが重要となります。当社は聞こえに関するお困りごとや不安がある方に寄り添いつつ、補聴器を通じて生き活きと生活していただくために、様々なサービスをこれからも提案してまいります。

Q4 ノルウェーの音響計測器メーカー「ノルソニック社」の子会社化についてお聞かせください。

ノルソニック社は欧州地域でトップクラスのシェアを保持する音響計測器メーカーです。欧米の政府機関・大学を中心とした環境計測市場をはじめ、国内外の建築音響市場等に多くのユーザーを持っています。子会社化の目的は三つあります。

一つ目はグローバルシェアの拡大です。緩やかに拡大する環境計測市場において、当社グループがさらなる発展を遂げるにはグローバルシェアの拡大が重要であると考えております。欧州地域に足掛かりを得ることで、計測器ビジネスが特に盛んなドイツ市場を中心に欧州市場におけるシェア拡大を図ります。

二つ目は環境モニタリングシステムにおける新

サービスの獲得です。環境計測市場では、建設工事現場や工場、道路等の騒音や振動を遠隔で監視し、データを顧客に提供するクラウドベースの環境モニタリングシステムが、欧米を中心に主流になりつつあります。ノルソニック社はシステムを既に完成させ、サービスの提供を開始しています。大きな成長が見込まれるこのサービスを獲得することで、今後さらなる成長につなげてまいります。

三つ目は世界中の多様なニーズに応えるための、開発力の強化です。ノルソニック社は、同じ音響計測器を扱うメーカーですが、日本と欧州では製品コンセプトが異なります。グループ企業として、お互いの強みを活かすシナジー効果を創出し、市場に前例のない製品やサービスの開発に注力してまいります。

Q5 株主様に向けてメッセージをお願いします。

急速に進むデジタル化やコロナによってもたらされた社会的影響など、当社を取り巻く経営環境は大きく変化しております。このような状況下でも持続的な成長を果たすために、当社は未来



への投資を惜しみません。来期以降はノルソニック社による欧州地域のシェア拡大と、各セグメントにおいて新製品を発売することで売上の増加を見込んでおります。2024年度までに達成すべく掲げている経営指標(売上高:250億、営業利益率:15%、ROE:10%)につきましては、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の“三方よし”という経営スタイルを貫くことで実現を目指します。これからも、株主の皆さまに共感と支持をいただけるよう尽力してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

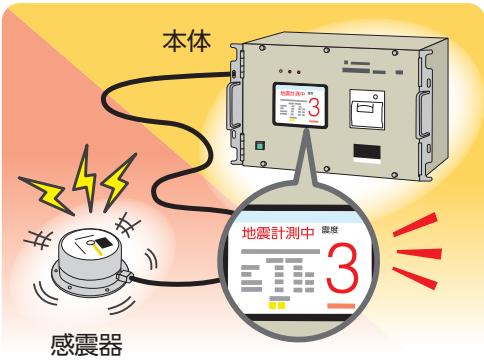


発見！こんな場所にも リオン製品が！

世界有数の地震大国と呼ばれる日本。全国各地で地震の揺れの大きさを測るため、地震計が設置されています。地震計が活躍する現場のなかで、私たちの生活に欠かせない水に関わるダムと防潮堤の水門を取材しました。

地震計とは

地震計は、地震の揺れを感じとる感震器かんしんき(センサー)と揺れの大きさなどの情報を表示・記録する本体で構成されます。主な設置場所は鉄道の線路脇、高速道路やダムなどです。地震計とシステムを連携することで、大きな地震が発生した際に鉄道や工場の機械を自動で停止させるなど、地震による被害の軽減を図ることができます。



現場ファイル 1 ならまた 奈良俣ダム 現場へ Go! ダムの安全管理に貢献する地震計

ダムの役割

水資源の確保と大雨による川の洪水被害を防ぐため、ダムは大変重要な役割を担っています。奈良俣ダムは群馬県北部の利根川上流にあり、農業・工業・生活水など人々の暮らしにおける貴重な水源を確保し、洪水が起きないように川の水量を調整しています。

STEP 1 観測

強い地震が発生するとダムの安全性に影響を及ぼす可能性があるため、地震計で常に揺れを観測できる体制を整えています。奈良俣ダムでは、ダム底の堅い岩盤やダムの最頂部(天端)などの計6ヶ所において感震器を設置しています。

STEP 2 点検

ダムでは日常的な保守点検に加えて、揺れの大きな地震(震度4以上)が発生した場合に臨時点検を行います。ダム周辺の巡回や測定しているデータを点検することで、ダムの安全性を確認しています。



取材先:奈良俣ダム(群馬県利根郡)

津波被害を防ぐため、防潮水門を自動制御する地震計



防潮水門の役割

防潮水門は、高潮や津波によって川に海水が浸入することを防ぐためのものです。丸子川は駿河湾に近く、地震による津波の侵入を防ぐことを目的に水門が設置されました。

STEP 1 観測

丸子川水門では、水門を的確に作動させるため、3つの感震器で地震の揺れを常時観測しています。水門に設置されたライブカメラによって、住民の方は水門の開閉状況を確認できます。

STEP 2 自動制御

地震計が震度5相当(地震加速度 250gal^{ガル}以上)の揺れを観測した場合、水門が自動で閉まります。津波に対する迅速な安全管理に貢献しています。

担当メッセージ

リオン 国内営業部
地震計販売課
かげやま なおき
陰山 直樹



地震計は震度を測るだけでなく、揺れの強さに応じて様々なシステムを制御しています。ダムや水門を訪れた際には、ぜひ思い出してもらえたら嬉しいです。

トピックス Topics

1 TOPICS ノルウェーの音響計測器メーカー「ノルソニック社」を子会社化

世界有数の音響計測器メーカー、ノルソニック社(Norsonic AS)がリオングループに加わりました。環境計測・建築音響のグローバル市場において多くのユーザーを持つ同社は計測ビジネスが盛んなドイツを中心に、欧州でトップクラスのシェアを保持。また欧米では主流になりつつある環境モニタリングシステムに対応した強力な製品「NorCloud」(ノルクラウド)を販売しています。

リオンは同社とのシナジーをフルに発揮し、海外における事業展開を加速してまいります。



環境モニタリングシステム「NorCloud」

2 TOPICS 日本初の量産型補聴器「H-501」が音響遺産^{*}に認定

戦後間もない1947年、難聴に悩む大学教授からの相談をきっかけに補聴器開発をスタートしたリオン。独自技術のクリスタル振動子によるイヤホンや、ミニチュア管と呼ばれる真空管を採用するなど、改良を重ねて小型化し、翌1948年に日本初の量産型補聴器「H-501」を完成させました。

このたび一般財団法人日本音響学会は、「第3回音響遺産」に「H-501」を認定。国産補聴器の礎を築いた歴史的製品としての価値が高く評価されました。

「H-501」の補聴器本体は、縦20cm×横10.5cm×厚さ3.5cm。まるで弁当箱のような大きさに時代を感じます。



量産型補聴器 H-501

^{*}「音響遺産」とは、一般財団法人日本音響学会が音響学および音に関わる事象を広く一般に伝えることを目的とし、主として一般の方々の耳目に触れる機会があり、かつ音響的な特徴を持つ具体的事象および事物に対して認定を行っているものです。

音響遺産の一覧はこちら

https://acoustics.jp/awards/onkyo_isan



3 TOPICS 新ポータルサイト「my RIONET」をアプリ版と同時リリース

リオンは、聞こえに関心のあるすべての方が利用できるポータルサイト「my RIONET」(マイリオネット)を開設し、スマートフォン用のアプリも同時にリリースしました。聞こえや補聴器に関する情報を発信し、疑問やお困りごとを解決する身近なサポーターとして、随時コンテンツを更新し、機能を拡充していきます。

無料の会員登録をさせていただくことで「my RIONET」はさらに便利に。お使いの補聴器を「my 補聴器」として登録でき、いつでもどこでも、ご自身の補聴器情報が確認できます。また、販売店への連絡がスムーズに行える他、会員限定記事の閲覧やお得なキャンペーン情報などの受け取りも可能になります。



my RIONETアプリの詳細はこちら
<https://my.rionet.jp/app/>

4 TOPICS 鎌倉投信主催「結い 2101」受益者総会にて企業展示

9月25日(日)、鎌倉投信主催の第13回「結い 2101」受益者総会®がWEB形式で開催され、全国から600名を超える受益者の方々に参加しました。当社は補聴器の技術者による、補聴器と加齢に伴う聴力の変化(聞こえ年齢)に関するプレゼンテーションを行いました。

今回の受益者総会は「No Technology No Life」をテーマに実施され、当社は「匠な技術」を持つ企業のひとつとして、企業展示に参加しました。

鎌倉投信が運用・販売する投資信託「結い 2101」は、人・共生・匠の3つを評価テーマとして、これからの日本に必要とされる会社を選択し投資しています。当社は独自の分野で事業を切り拓きそのいずれもが業界をリードしていることが評価され、2015年から投資先に選ばれています。



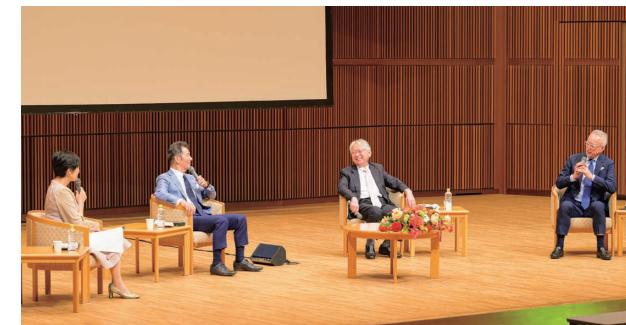
5 TOPICS リオネット補聴器アンバサダーの井上順さんが市民公開講座で講演

10月8日(土)に山形市の山形テルサにて、市民公開講座『聞こえと脳の深い関係』を開催しました。(主催：一般社団法人日本聴覚医学会、山形大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座、リオネット補聴器)

井上順さんのトークショーでは、補聴器を装着するに至った経緯や装着した時のエピソードをユーモアを交えて紹介。ご自身の体験から聞こえに向き合い、人生をもっと楽しむ秘訣を来場者へ伝えました。

その後、慶應義塾大学名誉教授 小川郁(おがわかおる)先生と山形大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座教授 欠畑誠治(かけはたせいじ)先生を交えたトークセッションを行いました。「よく聞こえる。より楽しくなる」をテーマに、聞こえの大切さや健康で元気に過ごす心掛けについて、語り合っていました。

当社は、今後も聞こえに関心を持つ多くの方が豊かな人生を過ごしていただくために、情報共有できる取り組みを続けてまいります。



談笑する井上順さん(左から2人目)

6 TOPICS リオネット補聴器「LSシリーズ」を新発売

リオネット補聴器「LSシリーズ」を10月17日(月)に発売しました。製品ラインナップの中でお求めやすい価格を実現しながら、音の成分を強調することで言葉を聞き取りやすくする「音声強調(SSS Speech+)」機能などを搭載。強化されたデジタル機能によって、会話時においてもより自然な聞こえをサポートします。耳かけ型補聴器は4つのカラーバリエーションを用意しており、幅広いニーズに応えます。



耳かけ型補聴器(4色)

「LSシリーズ」の詳細はこちら
<https://www.rionet.jp/product/series/ls/>



株主ひろば

「株主ひろば」は、株主の皆さまに役立つ情報やリオンの旬な話題をお伝えするコーナーです。今回は、補聴器に関する素朴な疑問にお答えします。

Q 補聴器はいつ頃にできたのでしょうか。補聴器がない時代にはどのように対応していたのでしょうか。



A 戦後間もない1948年、当社は日本で初めて量産型補聴器を発売しました。補聴器は一人ひとりの聞こえに合わせて調整することができます。

補聴器がなかった時代において有名なものは、ベートーベンが使用した「音聴キラップ」があります。音を集めることで拡大し、聴覚機能を補う道具として古くから使われていたと言われています。また、日本では、江戸時代の発明家・司馬江漢が眼鏡にヒントを得て、音の聞こえにくくなった人のために「耳鏡(じきょう)」を紹介した当時の広告が木版画に残っています。

デジタル技術や集積回路の技術進歩に伴う部品の小型化によって、補聴器は現在の小さなたちとなっています。



音聴キラップ



耳鏡を紹介した木版画

第102期第2四半期・製品別の概況

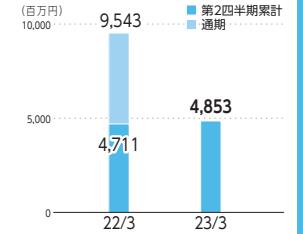
First six months of the 102nd period by product overview

補聴器



「リオネット補聴器」のブランド名で親しまれるリオンの補聴器は、高齢化の進展に伴う難聴者層の増加などを背景に、潜在成長力の高い補聴器市場において、お客様のニーズに寄り添った先進技術で業界をリードしています。

上期の業績は、新型コロナウイルス感染症による行動制限を受けた前年に比べて、来店者数が回復したこともあり、前年同期を上回る売上高となりました。



医用検査機器



医療の考え方が、治療から予防、さらに健康医学へと広がるなか、「検査」の役割はますます高まり、機器の多様化が進んでいます。大学病院の臨床検査や、人間ドックの聴力検査など、医用検査機器は多くの医療現場のニーズに応えています。

上期については、健康診断で使用する健診用オーディオメータの販売が堅調に推移したことなどにより、前年同期の売上高を上回りました。

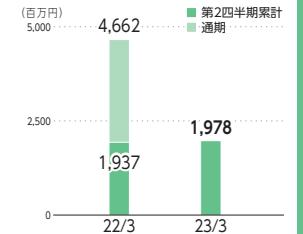


音響・振動計測器



騒音計、振動計、地震計など、環境行政や産業の多彩なニーズにきめ細かくこたえる製品を提供し、国内外の環境・産業計測市場を支えています。

上期の業績は、国内市場において工事現場等で使用される騒音計や振動計の販売が好調であった前年からの反動により減少したものの、海外市場における販売が好調に推移したことで前年同期を上回る売上高となりました。

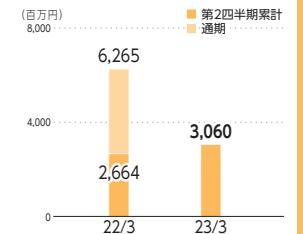


微粒子計測器



微粒子計測器は空気や液体の中に浮遊する微粒子を計測しています。高い清浄度管理が求められる、半導体などの精密機械や医薬品、食品の製造現場では、微粒子計測器による微粒子管理が行われており、ユーザーからの高い信頼を得ています。

上期は、世界的な半導体不足が長期化するなかで、活発な設備投資が継続し、半導体製造工場で使用される液中微粒子計測器の販売が好調に推移した結果、前年同期を上回る過去最高の売上高となりました。





音を科学する

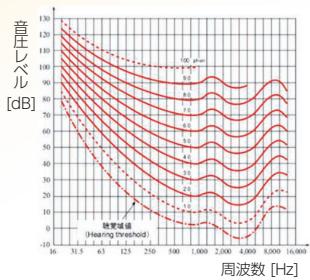
「音」を科学することで
様々な製品を
生み出してきたリオン。
このコーナーでは
「音」の不思議な力、
素朴な疑問を
紐解いていきます。

聞こえやすい音の周波数

私たちが生活の中で耳にする様々な音は空気の振動によって伝わります。聞こえる音を波に例えると、空気中には、うねりのようにゆったりした波、小刻みに震えるさざ波、強く激しい波、弱々しい波など、様々な波が存在しています。

1秒間に観測される空気中の波の数を「周波数」と言い、単位を「ヘルツ(Hz)」で表します。1秒間に1回の波が観測されれば1Hz、1万回の波なら10,000Hzで、その数が多いほど高い音、少ないほど低い音となります。一般的に人は、20Hzから20,000Hzまでの音を感じ取ることができるとされ、この周波数範囲を人の「可聴周波数範囲(かちょうしゅうはすうはんい)」といいます。

人の耳は音の大きさが同じでも音の高さによって感じ方が異なり、感じ方の鋭い音域もあれば、鈍い音域もあります。一般的な人の聴覚の特性をまとめた図が「等ラウドネス曲線」です。横



純音の等ラウドネス曲線
(2003年ISO 226 国際規格)

軸が周波数、縦軸は音の大きさを表し、曲線の垂れ下がった箇所が感度の鋭い周波数範囲です。これを見ると人の感度は3,500Hz辺りが高く、この付近の周波数成分で構成される音が、人の耳に強いインパクトを与えることを示しています。実際に警笛やアラーム音などに使われている高い音が当てはまります。人の聴覚の特性に合わせた音を選ぶことで、効果的な役割を果たしているのです。

出典：山下充康著「謎解き音響学」(丸善)

株主優待制度のご案内

期末配当基準日(3月31日)現在の株主様を対象に株主優待を実施しております。

ジェフグルメカード(食事券)



- 100株以上 ▶ 500円分
- 500株以上 ▶ 1,500円分
- 1,000株以上 ▶ 3,000円分
- 5,000株以上 ▶ 5,000円分
- 10,000株以上 ▶ 10,000円分
- 【追加】100株以上かつ3年以上継続保有* ▶ 1,000円分

*同一の株主番号で、毎年3月末と9月末の株主名簿に7回以上連続で記録された株主様を3年以上継続保有とみなします。

リオネット補聴器購入割引券



- 100株以上
- ※メーカー希望小売価格の10%割引
(片耳購入の場合は1台分)
(両耳同時購入の場合は2台分)
- 有効期間：1年間